

食と農を守り安心・安全を確保へ 約42億7,553.8万円の補正予算議決

埼玉県議会は平成22年12月22日、42億7,553万8000円の補正予算を議決し12月定例会を終了しました。

夏の猛暑による県産ブランド米「彩のかがやき」の被害に対して、「埼玉県農業災害対策特別措置条例」に基づく「特別災害」に指定し、被害農業者に米の作付け用の種子代や肥料代について、県と地元市町が共同で助成するため2億7,687万1,000円を計上。被害農業者向け融資である農業災害資金の貸付枠を1億円拡大し2億3,500万円へ。さらに、

高温障害に対する栽培技術の研究開発に3,870万6,000円の予算を計上しました。

その他、基金の積立として緊急雇用創出基金19億2,331万2,000円、医療施設耐震化基金2億2,454万円。公共事業、道路・街路の追加が11億9,600万円。また防災ヘリコプター「あらかわ1」の後継機取得などを決めました。

今年も皆さまの負託に応え、県民の安心・安全の実現に向け、精いっぱい働いていく所存です。よろしく願いいたします。



現在、1機体制で運航されている「あらかわ2」

早期に2機体制の復元を 次期防災ヘリが決定!!

昨年7月に不幸な事故で

失った県防災ヘリコプター「あらかわ1」の後継機種が決まりました。新たに導入される機種はイタリア製アグスタ式AW139型で、全長16.66m、3,358馬力、定員17名。安全を重視し、夜間運航などに

威力を発揮する赤外線カメラや地表に近づきすぎると警報を発する装置などを装備します。

ヘリコプターは受注生産のため、納入されるのは平成24年3月末になる予定。その後、新機種導入のためのパイロットの訓練を経た後、通常運航となります。

安全運航を重視、運航条例決まる

県議会は、防災ヘリによる事故が二度と起こらないよう、自

民党県議団が提案していた「県防災航空隊の緊急運航業務に関する条例」を決定しました。新聞報道などで話題になっていた遭難者の費用負担については本則から外し「県は必要な方策について早急に対応するもの」と付則に加えることで、今後の県の対応を促しています。



埼玉県議会議員 **神山 佐市** <Kamiyama Saichi>

監査委員 / 警察危機管理防災委員 / 少子・高齢福祉社会対策特別委員 / 図書室委員

※神山佐市の政策や実績など、詳しくはホームページをご覧ください。

URL <http://www.kamiyama.ne.jp>